

NEWS RELEASE

2016年6月28日

『自動運転専用保険（実証実験向けオーダーメイド型）』の開発

～「安心」「安全」「快適」な自動走行システムの技術進展をサポート～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、自動運転の実証実験を実施する事業者等に向けた専用保険として『自動運転専用保険（実証実験向けオーダーメイド型）』を開発し、2016年6月28日から提供を開始します。

『自動運転専用保険（実証実験向けオーダーメイド型）』は、自動運転に関わるさまざまなリスクを包括的に補償する『安心』の「自動運転専用保険」、SOMPOリスクアマネジメント株式会社のノウハウを活かした『安全』を支援する「リスクコンサルティング」、損保ジャパン日本興亜独自の走行データ分析による『快適』な自動運転の実現を支援する「専用サービス」から構成されます。実証実験のさまざまな形態に対応するため、オーダーメイド型の商品として、お客さまニーズにあわせた設計を行います。

1. 開発の背景

自動運転に関して、国内外で多数のデモ走行や公道実証実験が行われており、世界的に実用化・普及に向けた技術革新が進められています。国内では「官民ITS構想・ロードマップ2016」の策定を受け、研究が活発となるなか、2016年5月に警察庁が公表した「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」では、「適切な賠償能力の確保」が求められています。

そうした環境において実証実験の多種多様なリスクに対応するため、損保ジャパン日本興亜はこれまで蓄積した保険設計ノウハウを活かし、『安心』『安全』な車社会に繋がる自動走行システムの研究開発を支援するため、このたび専用保険を開発しました。また、最新のIoT技術により蓄積した走行データを活用し、より『快適』な自動運転の実現も支援していきます。

2. 商品・サービス概要

(1) 補償・サービスの全体像



①これまで蓄積した保険設計ノウハウを活かした『安心』の自動運転専用保険

②SOMPOリスクアマネジメントによる『安全』のリスクコンサルティング

③最新のIoT技術を活用し、より『快適』な自動運転の実現に向けた専用サービス

(2) 主な補償・サービスの内容

以下の専用の補償・サービスのうち、お客さまニーズにあわせた設計を行います。

区分	補償・サービス	内容
①『安心』の自動運転専用保険	運行リスク補償	運行に起因する事故全般を補償
	歩行者等の過失 100%補償	実験者が法律上の賠償責任を負う場合に、歩行者等の過失部分も含めて治療費等を支払い
	対物事故臨時費用	物損事故発生時の臨時費用（定額）を支払い
	破損・故障リスク補償	機器の破損・故障損害を補償（専用機器の据付ミス・組立ミスなどを含む）
	自動車本体【独自補償】	通常の自動車保険では対象外となる、自動車本体の故障損害を補償
	専用機器	高額な専用機器の破損・故障損害も補償
	サイバーリスク補償	サイバー攻撃を受けた際の損害を補償
	オーバーライド誤作動リスク補償	テストドライバーへ運転主権を委譲する際の誤作動による損害を補償
	GPS誤作動リスク補償	GPS誤作動により生じた損害を補償
調査費用等の各種費用	事故時の原因調査費用、再発防止措置費用などを補償	
②『安全』を支援するリスクコンサルティング	自動走行実験リスクアセスメントの支援	総合的にリスクを洗い出し、評価を実施
	事故発生時危機管理マニュアルの作成支援	万が一の事故発生時における関係者の対応をまとめたマニュアルの作成を支援
③『快適』な自動運転の実現のための専用サービス	安全運転診断サービス【独自サービス】	専用車載機により走行データを分析し、快適な運転挙動のアドバイス等を実施
	レッカー無制限サービス【独自サービス】	実施事業者の指定場所まで、距離に制限なくレッカーサービスを提供

その他、「車両同士が通信する隊列走行の自動運転」や「全自動駐車（自動バレーパーキング）」に対応した商品設計も可能です。【独自補償・サービス】

(3) 加入対象となるお客さま

- ① 自動走行システムの実証実験を行う企業、大学、研究機関など
- ② 自動走行システムの導入を検討し、実証実験を行う地方自治体など

3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜は、今後も、事故対応やリスクコンサルティングに関するノウハウとIoTなどの先進技術を活用した安心・安全に資する商品・サービスを提供していくことで、自動車事故の削減につなげ、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

以上